

てくらの生活 入門 最新のウィンドウズ10を知る

7月末に、マイクロソフトの最新基本ソフト（OS）である「ウィンドウズ10」の供給が始まりました。注目の機能や無償の更新（アップグレード）方法、操作について、3回にわたって解説します。今回は、新しくなった機能の特徴と、更新に必要な事前準備について理解を深めましょう。

ウィンドウズ10は、ウィンドウズ7以降のOSを搭載するパソコンで、無償供給が始まっています。しかし、無償といえども、「アップデートすべきなのかわからない」という人も少なくないでしょう。まずは、ウィンドウズ10で何が変わったのか、新機能について紹介します。

まず、大きな特徴はデスクトップ画面の操作性向上にあります。注目は、ウィンドウズ8でなくなり、ユーザーの不満が多かった「スタートメニュー」が復活したことです。10では画面左列にアプリの一覧、右側には「8」で採用されたアプリの起動ボタンである「タイル」が表示され

ます。天気やニュース、新着メールなどは最新の情報がタイル上に表示され（ライブタイル）、必要な情報をすばやく確認することができます。

また、「仮想デスクトップ」が使えるようになったのも大きなポイントです。これは、デスクトップ画面を複数作成して、デスクトップごと切り替える機能のこと。例えばウェブ閲覧用、文書作成用、写真の閲覧・編集用などと、必要な作業に合わせてデスクトップを作成しておく、あとはデスクトップを切り替えるだけなので、効率よく作業ができます。

さらに、ウェブブラウザが従来の「Internet Explorer」から「Microsoft Edge」

スタートメニューが復活

に変更されました。ウェブページの表示が速くなり、ウェブページに直接手書きのメモを書き込んで保存することができます。余分な表示を隠し、必要な本文と画像のみの表示に切り替えることもできます。

実際に使ったところ、「スタートメニュー」の廃止など、ウィンドウズ8の操作で不満だった点が解消され、セキュリティー面も強化されているようです。

ただし、一部のアプリや周辺機器が正常に動作しない、といったケースも出ています。来年7月末までは無償アップグレードが保証されていますので、現在の環境で困っていないのであれば、まずは様子見でもいいでしょう。

ウィンドウズ10は、対象のパソコンで予約を済ませると、準備ができ次第「無償アップグレードが可能になりました」というメッセージがデ

スクトップに表示され、都合のよいときにアップグレードをすることができます。

すでに通知が届いた人もいると思いますが、今使っているアプリ、プリンターなどの周辺機器が、ウィンドウズ10でも正常に動作するか、アップグレード後のトラブルを回避するためにも事前に確認して、必要に応じて対処をしましょう。なお、図の「Microsoft atLife」のページから各メーカーの最新情報が確認できます。

詳細は次回説明しますが、アップグレード後に元の環境に戻す機能も提供されています。ただし、万一に備えて大切なデータのバックアップはしておきましょう。パソコンメーカーが提供するバックアップ機能の活用、あるいはウィンドウズ7、8.1のパソコン全体をバックアップする「システムイメージの作成」を活用するといいいでしょう。（ライター・小野 均）

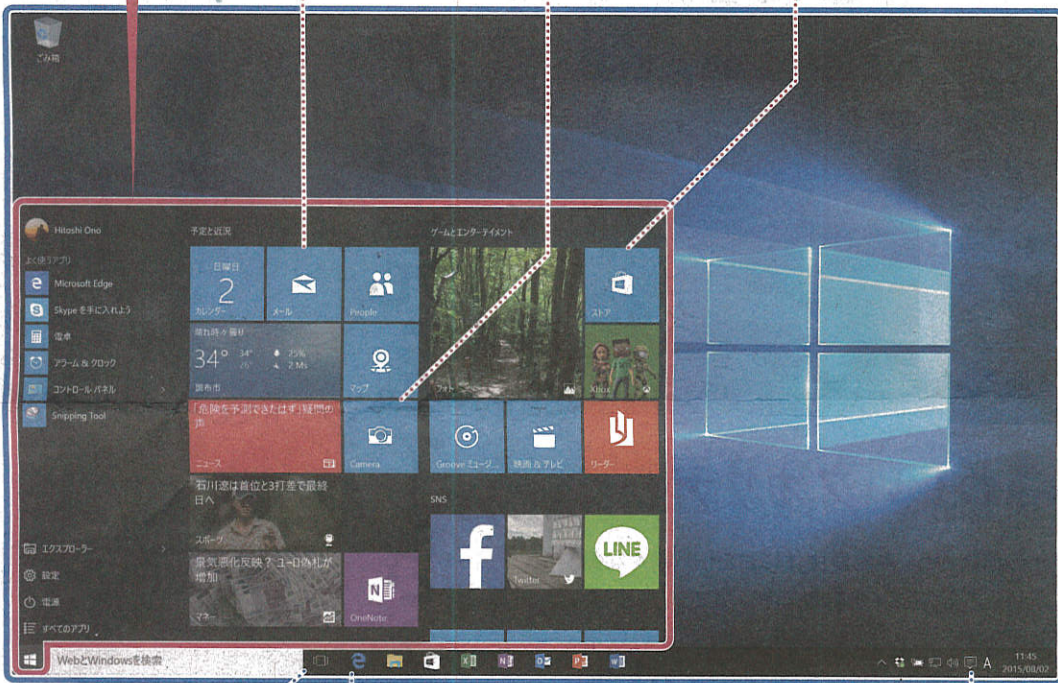
ウィンドウズ10 注目の新機能

スタートメニュー
要望の多かった「スタートメニュー」が新たなスタイルで復活

メール
アップルの iCloud メールを送受信も可能に

Camera
画像補正などの機能が充実し、クラウドサービス OneDrive との連携も強化

ストア
アプリ、ゲームの入手に加え、音楽の購入、映画の購入やレンタルも可能に



デスクトップ画面
タブレット PC 利用時はタッチ操作に最適のタブレットモードへ切り替えができる

タスクビューと仮想デスクトップ
起動しているアプリを一覧表示したり、目的別にデスクトップを増やしたりできる

Microsoft Edge
Internet Explorer に代わるウェブブラウザ。ウェブページに手書き文字や図形などを書き込み保存もできる

アクションセンター
システム、セキュリティー関連の通知や新着メールなどがまとめて確認できる

アップグレード前の準備

Microsoft atLife

microsoft.com/ja-jp/atlife/



互換性情報 & 早わかり簡単操作ガイド

画面の「互換性情報 & 早わかり簡単操作ガイド」をクリックするか、ページを下方方向に移動して「Windows 10 互換性情報」をクリック。メーカーごとの対応状況などが確認でき、操作ガイド (PDF) も入手可能

■ Cortana (日本語対応は準備中)

iPhone の「Siri」のように、対話形式で予定や天気の確認をしたり、音声でメッセージ送信したりできる



■ Windows Hello

対応センサー搭載 PC で使える生体認証機能。指紋、顔、虹彩をパスワードの代わりに使える



■ Xbox One との連携

ゲーム機 Xbox One との連携機能を搭載。Xbox One のゲームを PC 上でもプレーして楽しめる



てく的生活 入門 最新のウィンドウズ10を知る

マイクロソフトのパソコン用OSの最新版「ウィンドウズ10」を紹介する2回目は、実際に無償アップグレードをする手順や、以前の状態に戻す方法を説明します。アップグレード後、まず初めにマスターしたいデスクトップの基本操作についても学びましょう。

ウィンドウズ10の無償アップグレードの提供が、7月末に始まりました。予約した人は、画面右下にあるタスクバーに表示されているウィンドウズアイコンのアプリを確認してみましょう。「Windows10への無償アップグレードが可能になりました」というメッセージが表示されたら、更新が可能です。

最初に「続行」をクリックし、次の画面でソフトウェアライセンス事項に目を通し、「同意する」を選びます。次に、「今すぐアップグレードを開始」をクリック。あとはパソコンが数回自動で再起動するので、作業が終わるのを待ちましょう。アップグレードは2時間程度かかることも

ありますが、正常な更新や元に戻す操作ができなくなるので、作業終了まで絶対に電源を切らないでください。

画面に「ようこそ、こんにちは」と表示されたら「次へ」→「簡単設定を使う」→「次へ」とクリック。これで作業は完了です。

アップグレード後、アプリや周辺機器が正常に動作しないなどの理由から、元に戻したい場合は、図左下の方法で復元することが可能です。

なお、ウィンドウズ7まではユーザー名に任意の名前を使う「ローカルアカウント」のみの運用でしたが、8以降は「Outlook.com」のメールアドレスがユーザー名になる「マイクロソフトアカウント」も使えるようになりまし

更新後に復元することも可能

た。これはマイクロソフト社の個人認証システムで、同社が提供するクラウドサービス「OneDrive」などが手軽に活用できるようになります。

7からアップグレードすると、ローカルアカウントを引き継ぎますが、10では「スタートメニュー」から「アカウント設定の変更」を選ぶと、マイクロソフトアカウントに切り替えることも可能です。

次は、デスクトップの基本操作です。スタートメニューの主な機能は図右にまとめましたが、右側のタイルをカスタマイズするのがポイントです。よく使うアプリのみを表示（ピン留め）し、サイズや配置を調整すると、使い勝手が向上します。

また、新機能の「タスクビュー」も覚えると便利です。「タスクビュー」ボタンをクリックすると、起動しているアプリが画面上部に一覧表示されるので、目的のアプリを

素早く選択できます。

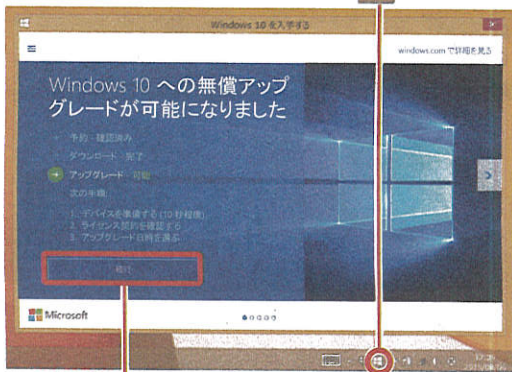
また、右下に表示される「新しいデスクトップ」をクリックすると、仮想デスクトップが作成され、一覧表示されます。一覧からクリックすると、選んだデスクトップに切り替わる仕組みです。

もう一つ覚えておきたいのが「スナップ」機能です。これは、同一デスクトップ上に最大四つのアプリを整理表示できる機能です。起動しているアプリのタイトルバー（最上部）をデスクトップの左右端にドラッグすると画面の2分の1サイズに、四隅にドラッグすると、4分の1サイズに整理表示されます。例えば、ワードで文書を作成しながらウェブページで関連情報を探するような場合に、左右に並べて表示する、といった使い方をします。タイトルバーを画面中央に向かってドラッグすると、元のサイズに戻せます。

(ライター・小野 均)

ウィンドウズ7や8.1を「10」にアップグレードする

① [更新] をクリック

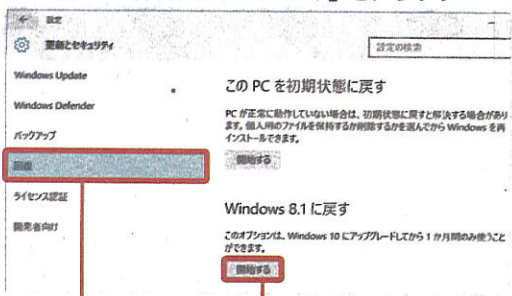


② この画面が表示されたら「続行」をクリックし、指示に従ってアップグレードする

注意 市販のセキュリティソフトは最新版でないと途中で削除されるケースがある。事前に「10」対応の最新版にしておこう

アップグレード後に元の環境に戻すには？

「設定」→「更新とセキュリティ」をクリック



① 「回復」をクリック ② 「開始する」をクリック

アップグレード後1か月間は、「設定」の「更新とセキュリティ」からアップグレード前の環境に戻すことができます。自分で作成したバックアップから元に戻すことも可能

デスクトップの基本操作

クリックしてアカウント設定の変更、画面のロック、サインアウトを行う

サイズを変更するには、端を上下左右にドラッグ

右クリックでピン留め（固定表示）が可能。アンインストールできるアプリもある

外すには右クリックから

タスクバーにピン留め（固定表示）したアプリ。ピン留めを外すには右クリックから

起動しているアプリを一覧表示。必要なアプリをクリックすると最前面に表示される

キーワードについて、パソコン内にあるメールやファイルなどからウェブサイトの情報まで一度に検索できる

クリックで「タスクビュー」を表示

仮想デスクトップの一覧から、必要なデスクトップをクリックして選択

クリックするたびに新しい「仮想デスクトップ」が作成できる

てく的生活入門 最新のウィンドウズ10を知る

ウィンドウズ10では既存のアプリが強化され、新たなアプリも追加されています。今回は新しくなったウェブブラウザの「Microsoft Edge」と音楽や映画の購入などに対応した「ウィンドウズストア」、写真編集機能が強化された「フォト」アプリを中心に解説します。

まず、新しくなった「Microsoft Edge」の三つの機能に注目します。

一つ目は、アドレスバーと検索ボックスの融合です。URLを入力してウェブページを表示するだけでなく、検索キーワードを入力することで、ウェブ検索もできるようになりました。

二つ目は、ウェブページの両サイドに表示される広告やメニューなどを非表示にする「読み取りビュー」の搭載です。ワンクリックで記事部分のみが表示されるのですが、使うにはウェブページが機能に対応している必要があります。

三つ目は、ウェブページに直接、手書き文字や図形、コ

メントなどを書き込んで保存・共有ができる「Webノート」の作成」です。例えば記事中の重要な部分にマーカーを引く、感想や関連情報を書き込むといった使い方ができます。タブレットPCであればペンや指先で、ノート型やデスクトップPCならマウスで手書き文字などを書き込み、テキストデータのコメントはキーボードで入力します。

なお、Webノートは「お気に入り」や「リーディングリスト」に保存できるほか、メール送信したり、FacebookやTwitterに投稿したりできます。

次に、ウィンドウズストアです。新しいウィンドウズストアでは、音楽の購入や、映画やドラマのレンタル・購入

ウェブブラウザに新機能

もできるようになりました。例えば音楽なら、聴きたい音楽を探し、試聴した上で、アルバムごと、あるいは曲単位で購入することができます。

決済方法は、2種類から選べます。一つは、前回紹介したMicrosoftアカウントとひも付けて登録するクレジットカード。もう一つは、家電量販店などで購入できるプリペイドカード「ウィンドウズストアギフトカード」（2千円、5千円、1万円）の利用です。

最後に、写真管理アプリの「フォト」は、編集機能が強化され、無料クラウドサービス「OneDrive」とも連携しています。

パソコンとOneDriveの連携はウィンドウズ8からの機能ですが、10ではMicrosoftアカウントでサインインしてエクスプローラー画面を開くと、左側に「OneDrive」が起動。あたかもPC上にあるフォルダーのように、ドラッ

グ&ドロップでクラウド、PC間のデータのやり取りが行えるのです。

そして「フォト」アプリには、OneDriveに保存した写真が自動で読み込まれます。つまり、スマホなどで撮影した写真を「OneDrive」に保存しておけば、パソコンでも手軽に管理できるようになるわけです。

写真の編集は図右下のように、写真を表示して「編集」ボタンをクリック。編集画面になったら、左側でツールを選択。右側に各ツール内の修正項目が並ぶので選択し、ドラッグ操作で調整をします。FacebookやTwitterへ投稿する前に修正をするときなどに便利です。

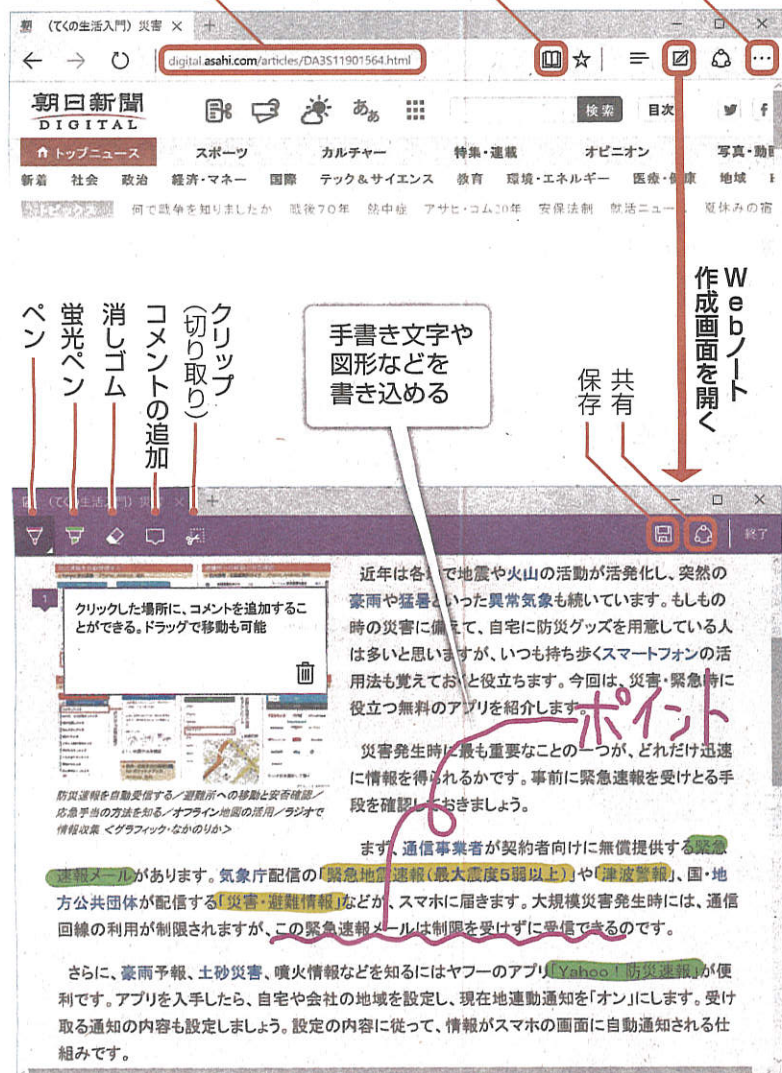
ウィンドウズ10には、他にも新機能があります。操作で迷ったときには「スタートメニュー」から起動する操作解説アプリ「Get Started」を活用するといいでしょう。
(ライター・小野 均)

「Microsoft Edge」の基本操作

アドレスバー
検索キーワードを入力するとウェブ検索ができる

読み取りビュー
メインの本文と画像のみの表示に切り替える(対応ページのみ)

クリックして「Internet Explorerで開く」と「Internet Explorer 11」が起動して表示中のページを開く



グラフィック・なかのりか

「ストア」で音楽を購入

該当コンテンツのページに切り替える

クリックして「お支払い方法」を選択。Microsoftアカウントでサインインし、「お支払い方法の追加」からクレジットカードを登録する



「フォト」アプリで写真を編集



てく的生活 入門 ウィンドウズ10を知る 番外

3回にわたってウィンドウズ10の基本機能を紹介しましたが、7や8.1からアップグレード(更新)した後に、トラブルに見舞われるケースもあるようです。そこで今回は、更新後のトラブルの対処や、更新前の状態に戻す方法について解説します。また、インターネットで最新情報を探す方法も覚えておきましょう。

ウィンドウズ10へ更新した後によくあるトラブルのひとつが、前環境では問題のなかったソフトや、プリンター、スキャナーなどの周辺機器が正常に動かなくなる、というものです。

原因としては、ソフトや周辺機器を動かすために必要なドライバーソフトがウィンドウズ10に対応していないことが考えられます。

この場合は、ソフトや周辺機器メーカーのウェブページでウィンドウズ10への対応状況を確認しましょう。

10対応の最新版が公開されていたら、ダウンロードしてインストールすることで正常に動作します。正常に動いているように見えるソフトも確

認し、最新版があれば更新しておくことで安心です。不具合の修正や、場合によってはセキュリティ面の強化なども行われているためです。

注意点は、ダウンロードするデータに32ビット版と64ビット版の2種類があるときに、正しい方を選ぶことです。事前に、下図の方法で自分が使っているウィンドウズ10の種類を確認しましょう。

また、標準組み込みの一部ソフトがなくなります。例えば「7」から更新なら「デスクトップガジェット」や標準付属のゲームが削除。DVD再生などができる「Windows Media Center(WMC)」もなくなります。DVDを観るには再生ソフトが必要になり

トラブルには、こう対処

ますが、元々WMCが入っていたPC(OS等の条件あり)には「Windows DVDプレーヤー」が無償提供されます。

対象でない場合の無料プレーヤーソフトの入手先や、その他の重要な対処方法は下表を参考にしてください。

一方、ウィンドウズ10の動作が不安定、ソフトが正常に動かず10対応の最新版がない、操作になじめない、といった理由から、元の環境に戻したい方もいるでしょう。

その場合、更新後に加えた設定やソフトはなくなってしまいますが、下図の右上の方法で更新前の状態に戻元することができます。ただし、更新後1カ月間(31日間)だけ有効で、期限を過ぎると復元用のデータが削除されるので注意してください。

元の環境に戻した場合、来年の7月末までは再度無料で10に更新することが可能です

が、安易に作業をしないでください。基本ソフトの更新、復元作業は時間がかかるだけでなく、予期しないトラブルを引き起こす可能性があります。いずれの作業も、実行前に大切なデータを必ずバックアップしておきましょう。

更新後、パソコンが起動しないと復元もできません。そんな重度のトラブルは、原因の究明が困難です。自力で修復を試みると修復不能になることもありますので、できるだけ早くPCメーカーのサポート窓口へ相談することをお勧めします。

最後に、ウェブ上の最新情報を探す方法を紹介しましょう。下図の右下のマイクロソフトの情報交換サイトは情報の精度が高く、情報量も豊富でお勧めです。ウィンドウズ10に限らず、ソフトや周辺機器の操作に困ったときやトラブルに見舞われたときなどにも、有効活用してください。

(ライター・小野 均)

ソフト、ドライバーを最新版にする

「スタートメニュー」→「設定」→「システム」とクリック

「バージョン情報」をクリック

システムの種類 64ビット

32ビットか64ビットか確認

メーカーのウェブページで最新版を探す

確認した種類のをダウンロードしてインストール

※画面はエプソンのプリンターの例

アップグレード前の状態に戻す

1カ月間有効

「スタートメニュー」→「設定」→「更新とセキュリティ」とクリック

「回復」をクリック

「Windows 8.1に戻す」の「開始する」をクリック

画面の指示に従って復元

注意!

「10」へのアップグレード後に加えた設定、ソフト等は削除される。念のため大切なデータはバックアップしておこう

その他の気になるトラブル対策

| 症状・疑問 | 対策 |
|---------------|---|
| 動作が極端に遅くなった! | システムがメンテナンス作業を実行中の可能性も。しばらく電源を切らずに様子を見る |
| オンラインバンクは使える? | 新ウェブブラウザ「Microsoft Edge」が非対応のケースも。確認して「Internet Explorer 11」など推奨ブラウザを利用する |
| プライバシー情報が漏れる? | 標準設定では入力内容や位置情報などがマイクロソフトへ送信される。設定変更は「設定」→「プライバシー」で |
| DVDを再生できない! | 無償提供ソフトの対象外なら別途入手する 【無料の再生ソフトの例】 ● VLC media player ... videolan.org/vlc/index.ja.html ● GOM Player gomplayer.jp |

最新情報をウェブで探す

Microsoft コミュニティ
answers.microsoft.com/ja-jp/windows

マイクロソフトの公式の情報交換サイト。情報を閲覧したり、質問の投稿も可能

グラフィック・なかのりか